

令和5年度 市政懇談会 開催議事録

開催日時：令和6年3月31日（日）午後2時00分～午後3時30分

開催場所：笠間市役所 本所

出席者：8名

《意見交換》

- 1 精神障がい者の自立支援について
- 2 防災計画等について
- 3 出前講座での感想や意見について
- 4 トモアの地中熱利用換気システムについて
- 5 県立IT未来高校との連携について
- 6 精神障がい者の支援について

1 精神障がい者の自立支援について

【意見等】

令和6年度の笠間市予算で、障がい者の支援も力を入れているようだが、身体障がい者のみではなく、精神障がい者についても、ぜひ自立支援の取り組みの充実をお願いしたい。

【回答】

障がい者支援については、ご家族や支援団体など、多くの立場の方々と対話をしていきたいと考えている。予算の関係上、支援策のすべてを実現することは難しいが、優先していくものを判断しながら進めていく。

2 防災計画等について

【意見等】

県や市でも作成している原子力災害発生時の避難計画について、日本原子力発電（株）東海第二発電所から30km未満の地域が避難対象になるが、笠間市内の広い地域が対象になってしまう。避難の行動指針を教えていただきたい。

また、災害は忘れたところにやってくるため、防災計画は見直しが必要だと思うが、いかがか。

【回答】

県で放射性物質の拡散シミュレーションした結果が発表されたが、行動指針も、発電所から30km以内の皆さんが一斉に同時避難をするわけではなく、5km未満など場所ごとの条件によって避難の在り方が異なる。

また、市の防災計画は、適時防災会議を行い、見直しをしてきた。例えば、ハザードマップについても、水防法の改正により県管理の河川について、令和6年度中に見直しを行う予定である。見直しに伴い、避難区域エリアが変わるため、情報提供を行っていく。

防災については、大災害発生時は意識をするが、時がたつと忘れてしまう。市も、防災についてのアナウンスを継続的に行っていく。

3 出前講座での感想や意見について

【意見等】

市で行っている出前講座について、参加者から感想や意見が届けられると思うが、市長やそれぞれの担当課へ共有してはいかがか。今後の市政にも役立つと思う。

【回答】

私がすべて目を通すことは難しいが、それぞれの担当課への情報提供を行っていく。

4 トモアの地中熱利用換気システムについて

【意見等】

地域交流センターともべ「トモア」の地中熱利用換気システムは素晴らしい取り組みだと思う。導入効果など、ぜひ公表してはいかがか。

【回答】

システム導入について公表を行っていききたい。

※補足情報：

現在も、「トモア」の交流ルームに地中熱利用換気システムの活用についてのパネルを展示して地中熱の利用効果を公表しているが、今後は市ホームページへ掲載するなど広く公表していく。

5 県立IT未来高校との連携について

【意見等】

県立IT未来高等学校について、(令和7年度に)初めて卒業生が誕生する。市とIT未来高校の連携は考えているか。

【回答】

IT未来高校とは、連携をすでに取り始めているが、これからも連携を継続していきたい。IT未来高校でのIT人材育成に期待している。

6 精神障がい者の支援について

【意見等】

精神障がい者について、アメリカなど医療体制の先進地について学んでほしい。アメリカでは、入院ではなく通院がメインで、そのため、個人も行政も費用負担が格段に少ない。市にとってもメリットがあると思う。

また、精神障がい者が地域で生活できるように支援をしてほしい。作業所に通い始めたあとも、定期的に精神保健福祉士が見回る仕組みなどを市で行ってくれるとよいのだが。

【回答】

精神障がい者の地域の受け皿にはデイケアや作業所などがある。数が足りないなどの課題があるかも

しれない。状況を把握して現場の改善に努めていきたいと思う。精神障がい者関係の施設については、支援に積極的な人材が入ることが理想であるが、どの業界でも働く人材がないことが課題となっている。見回りは事業所の規模などにも関係あると思う。よく検討する。